

AMEDが支援する医療研究開発の概況

平成28年度

※ AMED Management System (AMS)により集計

日本医療研究開発機構

図1 研究の性格に基づく分類

「医薬品・医療機器の開発を目指す研究」が課題数、金額とも約4割を占め、最も多い。また、金額では「研究基盤及び創薬基盤整備研究」が約3割を占めている。

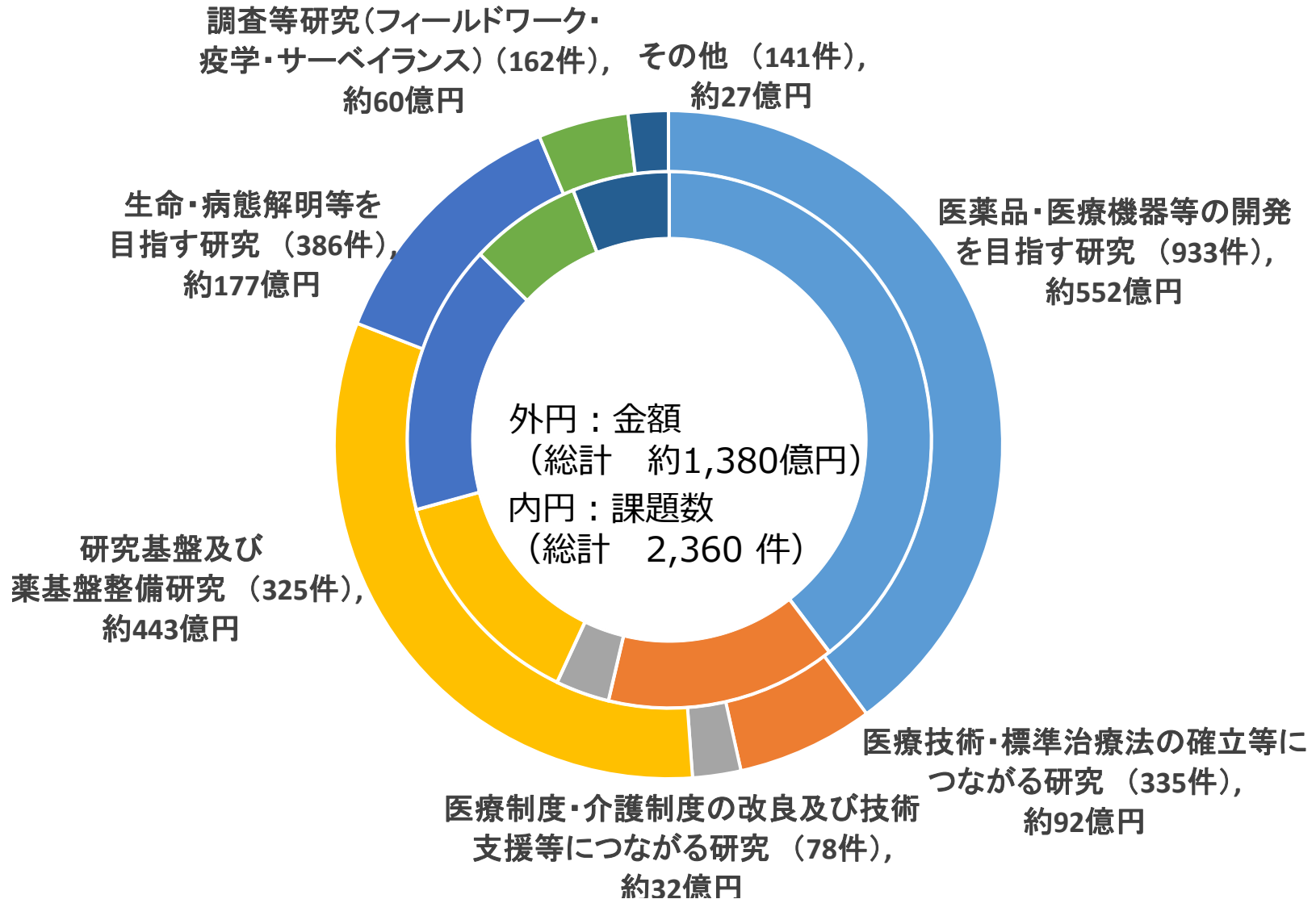
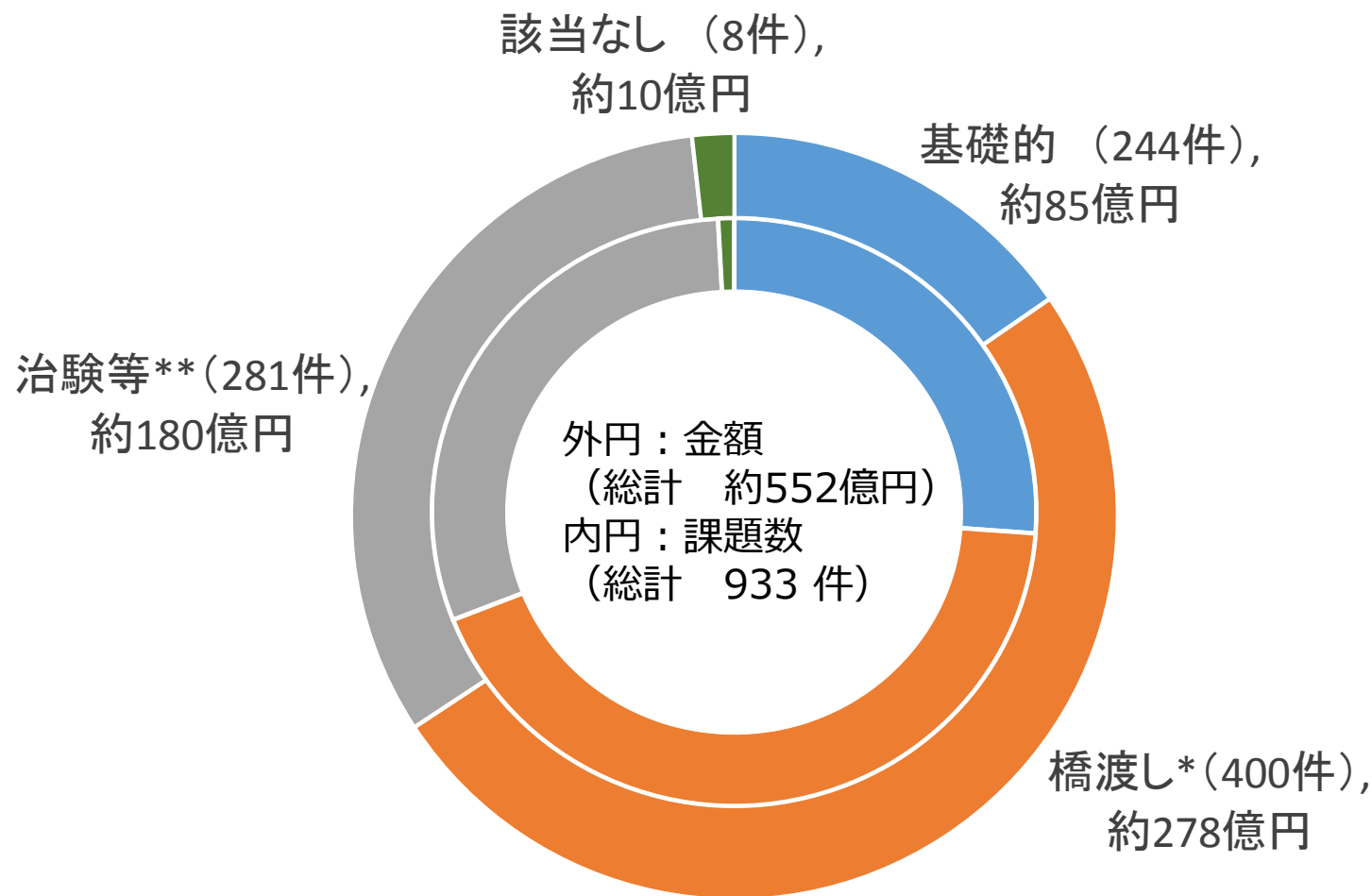


図2 研究開発フェーズ

医薬品・医療機器等の開発を目指す研究のフェーズの内訳を見ると、金額的には「橋渡し」が最も多い。



*橋渡し：「応用」「非臨床・前臨床」の合計

** 治験等：「臨床試験」「治験」「市販後」「臨床研究」の合計



図3 対象疾患

研究対象疾患は「がん」、「精神・神経系」、「感染症」、「循環器系」、「筋骨格系・結合組織」の順に多い。

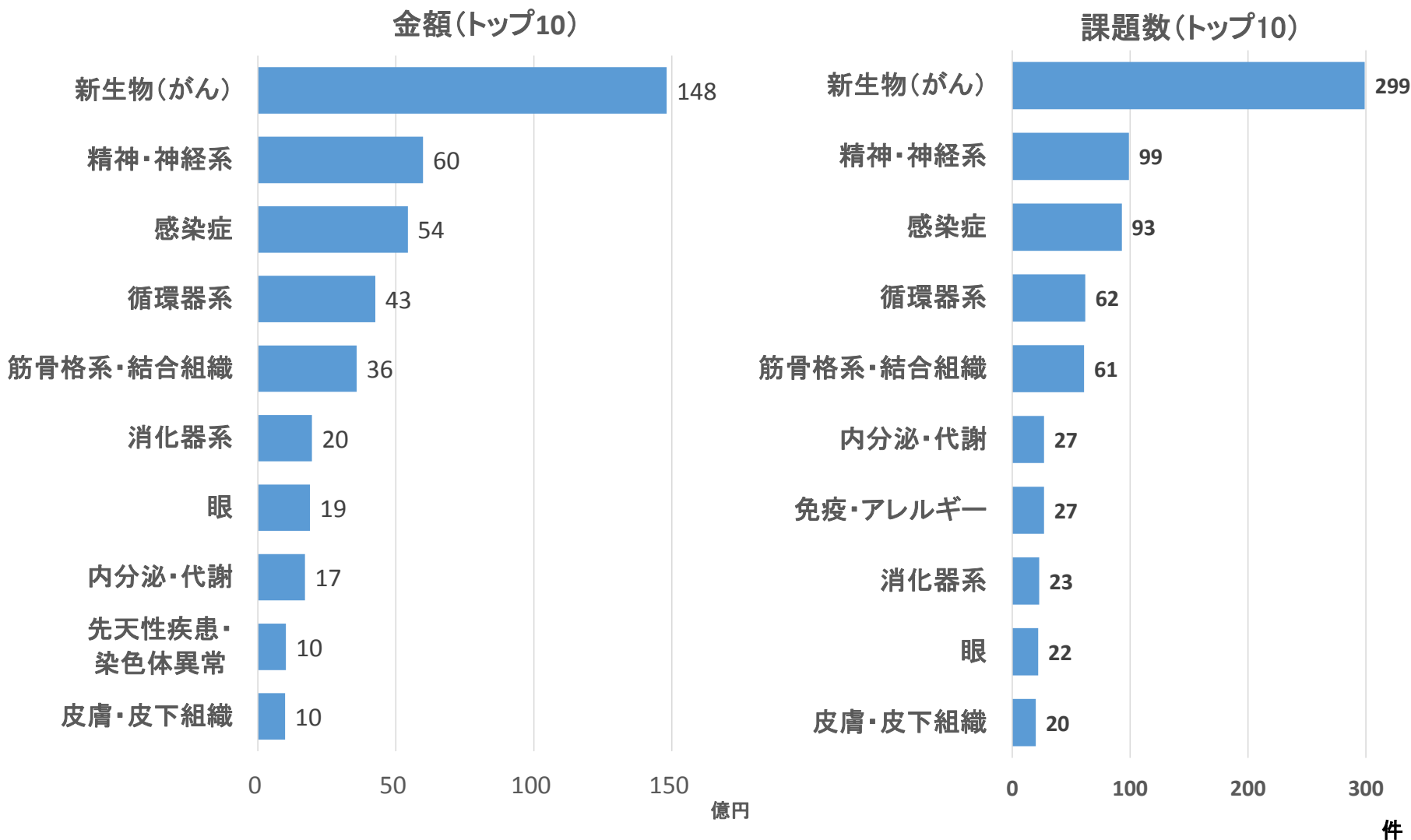


図4 研究開発対象物の承認上の分類

研究開発対象物の承認の分類が該当する課題の内訳を金額で見ると、「医薬品」が最も多い。

